

経営比較分析表

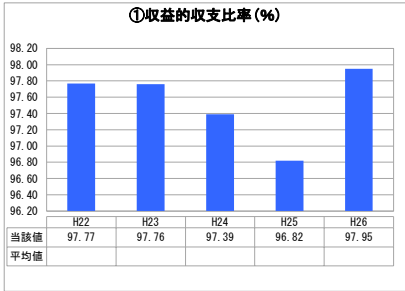
大分県 国東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	39.54	88.39	2,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,413	318.07	95.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,953	6.07	1,969.19

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



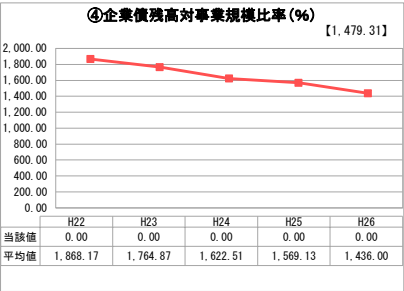
「単年度の収支」



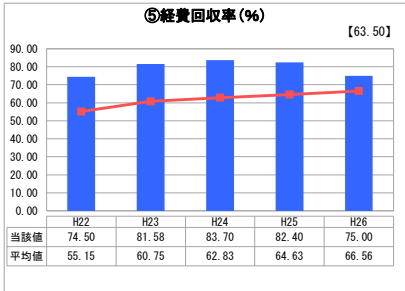
「累積欠損」



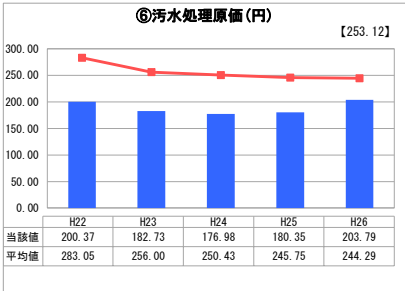
「支払能力」



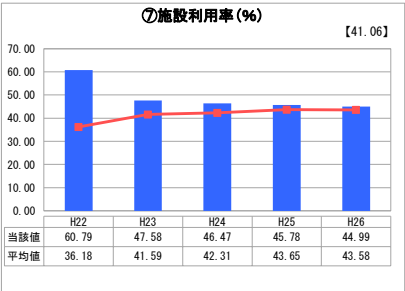
「債務残高」



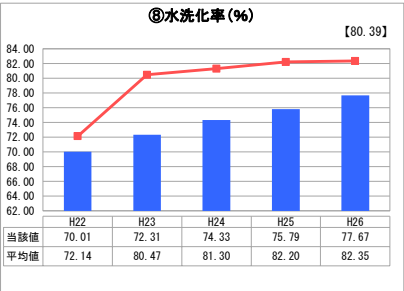
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

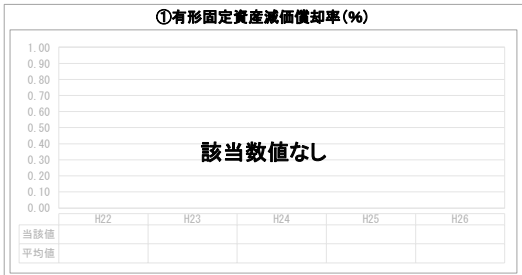


「施設の効率性」

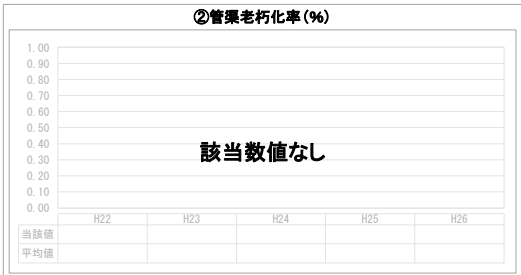


「使用料対象の捕捉」

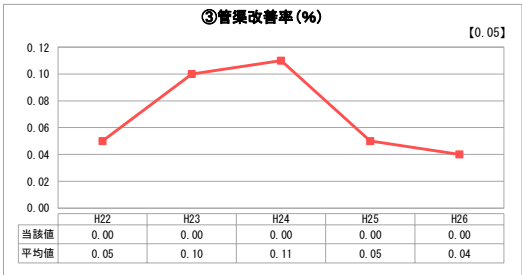
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比較すると経費回収率が上回っているものの水洗化率が下回っています。
要因としては、接続率が伸び悩んでいることと、事業所の縮減・人口減少等による影響が大きいと考えます。
今後も人口減少による使用料の減少が見込まれるため、公共下水道事業・農業集落排水事業と合わせ、平成28年度より料金改定を行います。

2. 老朽化の状況について

平成10年3月27日(伊美処理区)、平成9年3月20日(武蔵東部処理区)、平成11年3月31日(安岐処理区)供用開始のため、主だった管渠の老朽化はみられません。

全体総括

平成28年度より料金改定を行います、安定した使用料収入を見込むため水洗化率の向上に努めます。
また、長寿命化計画による計画的な更新や維持管理費の節減を行います。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。